

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	6,889	9.1	△34	—	△37	—	14	—
25年6月期第1四半期	6,315	△2.4	△115	—	△122	—	△168	—

(注)包括利益 26年6月期第1四半期 160百万円 (—%) 25年6月期第1四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	1.52	—
25年6月期第1四半期	△18.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第1四半期	22,797	7,506	32.9	810.32
25年6月期	21,101	7,505	35.6	810.59

(参考)自己資本 26年6月期第1四半期 7,506百万円 25年6月期 7,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,600	5.5	1,400	16.2	1,450	21.1	870	36.7	93.36
通期	33,200	6.2	1,500	4.9	1,500	5.2	800	33.2	86.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期1Q	9,295,000 株	25年6月期	9,295,000 株
26年6月期1Q	31,705 株	25年6月期	35,555 株
26年6月期1Q	9,260,408 株	25年6月期1Q	9,260,205 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策への期待と、株価の上昇や円安の進行を背景として、輸出関連企業を中心に景気回復の兆しが見えてはいるものの、雇用情勢や所得環境などの改善までには至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、消費税率の引き上げに対する懸念などから、節約志向・低価格志向は継続しており、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高68億89百万円（前年同四半期比5億73百万円（9.1%）の増加）、営業損失は34百万円（前年同四半期は営業損失1億15百万円）、経常損失は37百万円（前年同四半期は経常損失1億22百万円）、四半期純利益は14百万円（前年同四半期は四半期純損失1億68百万円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、昨今の景気回復傾向と消費動向の改善による需要の活性化はまだ目に見える状況には至っておらず、激化する小売業における価格競争は継続しており、厳しい状況が続いております。

今夏は、記録的な猛暑が続き、水産練製品の需要にとっては厳しい環境でありましたが、8月末からの気温低下により「おでん」商品群は順調に立ち上がり、当期間の需要は総じて堅調に推移いたしました。

商品政策、販売政策におきましては、前年度より実施した主力商品のリニューアルによる商品力の向上と商品育成を目指した販売促進の強化を推進してまいりました。また、おかず・おつまみ・お弁当などのいわゆる「中食」需要の高まりに合わせた惣菜型の新商品につきましても販売拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は58億88百万円（前年同四半期比4億67百万円（8.6%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は54百万円（前年同四半期は95百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、消費マインドは依然として低迷しておりますが、昨年の青果物相場の大幅な下落と比較し、野菜相場及びきのこ相場は持ち直してきており、販売価格も回復傾向が見られました。

このような環境のなか、販売強化に継続的に取り組んだ結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8億23百万円（前年同四半期比1億8百万円（15.2%）の増加）、セグメント損失（営業損失）は9百万円（前年同四半期は51百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③ その他

(運送・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕や新規のお客様との取引拡大が寄与したことに加え、物流機能の効率化により、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫が低調に推移いたしましたが、効率的な庫内管理に努めた結果、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

(ゴルフ場事業)

当事業におきましては、プレー料金の低価格競争に加え、春先の降雪によるクローズなど天候不順の影響を受け、来場者数、売上高ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億77百万円（前年同四半期比1百万円（1.0%）の減少）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同四半期は29百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は76億88百万円（前連結会計年度末比11億27百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加、需要期に備えた商品及び製品、仕掛品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は151億8百万円（前連結会計年度末比5億68百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加ならびに投資有価証券の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は101億59百万円（前連結会計年度末比21億33百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は51億31百万円（前連結会計年度末比4億38百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、その他有価証券評価差額金の増加や配当金の支払等により75億6百万円（前連結会計年度末比0百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の35.6%から32.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月6日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,567,664	1,767,813
売掛金	2,848,705	3,286,621
商品及び製品	435,596	667,648
仕掛品	475,573	675,174
原材料及び貯蔵品	1,051,061	1,065,490
その他	183,397	226,377
貸倒引当金	△821	△767
流動資産合計	6,561,177	7,688,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,312,178	5,391,891
機械装置及び運搬具(純額)	2,526,492	2,812,457
工具、器具及び備品(純額)	142,990	134,069
土地	3,537,575	3,537,575
リース資産(純額)	34,228	31,262
建設仮勘定	187,230	73,258
有形固定資産合計	11,740,695	11,980,515
無形固定資産		
投資その他の資産	377,160	375,612
投資有価証券	1,895,850	2,067,852
その他	590,623	748,359
貸倒引当金	△64,160	△63,665
投資その他の資産合計	2,422,313	2,752,547
固定資産合計	14,540,169	15,108,674
資産合計	21,101,346	22,797,033
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,542,510	1,842,834
短期借入金	3,727,880	5,674,496
未払法人税等	448,773	114,016
賞与引当金	55,730	214,736
未払金及び未払費用	1,568,930	1,730,967
その他	682,153	582,136
流動負債合計	8,025,978	10,159,186
固定負債		
社債	2,115,000	2,012,500
長期借入金	2,773,324	2,462,650
退職給付引当金	1,003	743
役員退職慰労引当金	149,953	167,939
その他	530,516	487,780
固定負債合計	5,569,796	5,131,613
負債合計	13,595,774	15,290,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	5,314,467	5,166,281
自己株式	△17,804	△15,109
株主資本合計	6,886,662	6,741,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538,062	692,624
為替換算調整勘定	80,847	72,437
その他の包括利益累計額合計	618,909	765,061
純資産合計	7,505,572	7,506,233
負債純資産合計	21,101,346	22,797,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,315,735	6,889,528
売上原価	4,864,589	5,244,628
売上総利益	1,451,145	1,644,900
販売費及び一般管理費	1,566,215	1,679,867
営業損失(△)	△115,069	△34,967
営業外収益		
受取利息	57	28
受取配当金	2,228	3,728
受取賃貸料	4,985	3,275
保険配当金	4,601	4,557
雑収入	8,052	10,846
営業外収益合計	19,926	22,436
営業外費用		
支払利息	26,001	23,641
雑損失	1,619	974
営業外費用合計	27,621	24,615
経常損失(△)	△122,765	△37,146
特別利益		
固定資産売却益	393	1,255
特別利益合計	393	1,255
特別損失		
固定資産除却損	2,866	9,655
工場移転費用	22,776	—
特別損失合計	25,642	9,655
税金等調整前四半期純損失(△)	△148,014	△45,547
法人税、住民税及び事業税	70,094	110,676
法人税等調整額	△49,178	△170,281
法人税等合計	20,915	△59,604
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△168,930	14,057
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△168,930	14,057

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△168,930	14,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,596	154,561
為替換算調整勘定	—	△8,409
その他の包括利益合計	19,596	146,151
四半期包括利益	△149,333	160,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,333	160,208
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,421,571	714,517	6,136,088	179,646	6,315,735	—	6,315,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	362,868	362,868	△362,868	—
計	5,421,571	714,517	6,136,088	542,515	6,678,603	△362,868	6,315,735
セグメント利益又は損失(△)	△95,878	△51,390	△147,268	29,982	△117,286	2,216	△115,069

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2,216千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,888,615	823,065	6,711,680	177,848	6,889,528	—	6,889,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	476,180	476,180	△476,180	—
計	5,888,615	823,065	6,711,680	654,028	7,365,709	△476,180	6,889,528
セグメント利益又は損失(△)	△54,202	△9,764	△63,966	15,865	△48,100	13,133	△34,967

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額13,133千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。